

2021
ほろ
メインシーズン



KAAT DANCE SERIES 2021

Le Tambour de soie

演出・振付・出演：伊藤郁女、^{篠田ヨシ}鼓

糸の

2021年12月24日(金)～12月26日(日)

KAAT
神奈川三井芸術劇場「大ホール」

KAAT
KANAGAWA ARTS THEATRE

しし思いの鼓が鳴ればあひま



伊藤郁女

振付家・舞踊家

東京生まれ。5歳よりクラシックバレエを始め、20歳でニューヨーク州立大学パーチェスカレッジへ留学後、立教大学で会学と教育学を専攻。その後、アルビン・エイリー・ダンスシアターにて研修を積む。2003年～05年文化庁新進芸術家海外研修制度研修員。フィリップ・ドックフレ『Iris』で主役を演じ、プレルジョカージュ・バレエ団、ジェームズ・ティエレなどを経て、2009年シディラルピ・シェルカウイ振付、ギー・カシーエス演出『眠れる美女』等に主演。『Noctilique』以降、創作活動も意欲的に展開。2015年から、自らのカンパニーをフランス、スイスを拠点として立ち上げ、『私は言葉を信じないので踊る』、『私を燃やして』、『リアムへ』、『ロボット、私の永遠の愛』、『森山未来との作品『Is it worth to save us?』、『あなたへ』を発表。2015年にSACDより新人優秀振付賞、フランス政府より芸術文化勲章「シュバリエ」を受賞。



笈田ヨシ

俳優

1933年神戸市生まれ。慶応義塾大学で哲学の修士号を取得。国内でテレビ、映画、現代劇で活躍し、三島由紀夫とも仕事をする。1968年、ジャン・ルイ・バローに招かれてフランスに渡り、1970年、ピーター・ブルックが設立した国際演劇研究センター(CIRT)に参加。その後、プッフ・デュ・ノール劇場で、『マハーバーラタ』、『テンペスト』、『ザ・マン・フォー』など主要な公演に参加した。1975年からは、サミュエル・ベケット『エンドゲーム』、ジャン・ジュネ『レ・ポンズ』、ヴェルディ『ナブッコ』、モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』、ベンジャミン・ブリテン『戦争レクイエム』など、演劇、オペラ、ダンスの演出も手掛ける。主な著書に『俳優漂流』がある。



矢吹誠

音楽家

1951年愛知県生まれ。武蔵野美術大学で建築を学んだ後、劇団黒テントに入団し、10年間演出から編曲まで多くの役職を歴任。同時にアジアと日本の伝統音楽を学び、三味線、琵琶、篠笛、尺八などの和楽器を演奏。1984年、フランスのカンパニー『道成寺』(三島由紀夫)の音楽でエジンプラ・フェスティバルに参加。その後横浜ポトシアターの音楽を担当。1990年、ミュージカル『龍の子太郎』(青山劇場)作曲、指揮。1992年、笙、篠笛、尺八、箏奏者達と創作竹打楽器によるジャパン・バンブーオーケストラを創設。1994年渡仏し、フランス人打楽器奏者とマルセイユ・バンブーオーケストラを結成。その後、竹楽器合奏による独自のコンサートを世界各地で展開、住んでいる南仏地域では、竹楽器による教育、セラピー・ワークショップも頻繁に行っている。

【国】 際的に活躍する振付家・舞踊家伊藤郁女とピーター・ブルックと共に創作活動を行ってきた伝説の俳優笈田ヨシが、フランスで創作した「ダンス・シアター」。この作品は、コロナ禍のフランスで、2020年10月に開催されたアヴィニョン芸術週間 (UNE SEMAINE D'ART EN AVIGNON) で世界初演され、大変話題となった作品です。物語は、劇場の舞台を掃除している老人が舞台でリハーサルをしているダンサーに恋するが、思いが成就しない悲劇を描いています。能の曲目「綾鼓」と三島由紀夫が翻案した「近代能楽集」の一作「綾の鼓」からインスピレーションを受けたジャンルクロード・カリエールのテキスト(物語)が才能あふれる二人の日本人アーティストの身体を通して語り始め、矢吹誠の打楽器の音色と混ざり合う、かなわぬ恋の物語を観客に語ります。伊藤・笈田版「綾の鼓」、ご期待ください。

KAAT DANCE SERIES 2021 **綾の鼓**

KAAT 神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉 2021年12月24日(金)～12月26日(日)

演出・振付・出演：伊藤郁女、笈田ヨシ テキスト：ジャン・クロード・カリエール 音楽・出演：矢吹誠
照明：Arno Veyrat 音響：Olivier M'Bassé 衣裳：Aurore Thibout

12/24(金)	25(土)	26(日)
19:00	15:00◎	15:00

※開場は開演の30分前 ※上演時間：約1時間(休憩なし) ※フランス語上演、日本語字幕あり
◎託児サービスあり。公演1週間前までに要予約・有料(マザーズ Tel.0120-788-222)

チケット好評発売中

チケット(全席指定・税込)

一般	4,500円
U24チケット(24歳以下)	2,250円
高校生以下割引	1,000円
シルバー割引(満65歳以上)	4,000円

※U24、高校生以下、シルバー割引はチケットかながわの電話・窓口・WEBにて取り扱い(前売のみ、枚数限定、要証明書) ※車椅子でご来場の方は事前にチケットかながわにお問い合わせください。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット取り扱い

チケットかながわ <https://www.kaat.jp>
0570-015-415 (10:00～18:00)
窓口：KAAT神奈川芸術劇場2階 (10:00～18:00)

- チケットぴあ <https://pia.jp/t/kaat/> (Pコード：508-052) 0570-02-9999
- イープラス <https://eplus.jp/kaat/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com/play/kaat/> (Lコード：34613)



KAAT神奈川芸術劇場では新型コロナウイルス感染拡大予防対策を行い主催公演を実施します。ご来場前に、劇場HPのご来場のお客様へのお問い合わせください。

〈静岡公演〉12月18日(土)・19日(日)
静岡芸術劇場 主催：SPAC・静岡県舞台芸術センター

芸術監督：長塚圭史 宣伝写真：Christophe Raynaud de Lage
宣伝美術：吉岡秀典 宣伝イラスト：クボタノブエ 宣伝編集：佐々木好

公演URL <https://www.kaat.jp/d/LeTambourdesoie>

お問合せ
チケットかながわ
0570-015-415 (10:00～18:00)



KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281
TEL.045-633-6500(代表) FAX.045-681-1691
<https://www.kaat.jp>

- みなとみらい線：浜崎駅から東横線直通で35分! 横浜駅から6分! 日本大通り駅から徒歩約5分。元町・中華街駅から徒歩約8分。
 - JR根岸線：関内駅または石川町駅から徒歩約14分。
 - 市営地下鉄：関内駅から徒歩14分。
 - 市営バス：芸術劇場・NHK前すぐ。
- 横浜駅前東口バスターミナル2番のりば乗車(所要時間約25分)
桜木町駅前バスターミナル2番のりば乗車(所要時間約10分)
※上記のりばから乗車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。ただし、148系統急行線を除く。
指定管理者：(公財)神奈川芸術文化財団



制作：Maison de la Culture d'Amiens, Company Himé
共同制作：アヴィニョン演劇祭、パリ市立劇場
支援：サン・キャトル・パリ、SPEDIDAM(音楽舞踊実演家権利許諾受領協会)
助成：Institut Français + Région Hauts de France、
Foundation Franco Japonaise Sasakawa
企画制作・主催：KAAT神奈川芸術劇場